

# 神奈川

身近な秋  
8  
神奈川



## 31 豊顕寺

江戸時代、かつて5万2千坪に及んだ境内には僧の学問所「檀林」があり、学徒は300人を超えたという。明治期の火災、大正期の関東大震災により檀林は廃止されたが、その趣ある境内には秋の装いが似合う。

<所在地>神奈川区三ツ沢西町 16-1 (撮影/小山正武)

この緑道を歩いた後は、かつての僧侶の学問所・檀林として栄えた豊顕寺です。境内の樹齢600年といわれる大銀杏の頂部にはなんと桜が生えています。珍しいですね。桜の咲く頃に見に行ってみてはいかがでしょうか。その先は、豊顕寺市民の森です。2ヘクタールと小規模な森ですが、紅葉やドングリ拾いなど小さな秋が見つかるかもしれませんよ。

三ツ沢下町駅から南に歩けば、すぐに「三ツ沢せせらぎ緑道」に出ます。その道では豊顕寺市民の森方面に向かって小さなせせらぎに沿って散策できます。実はこの緑道は反町川を暗渠にした際に造られたもので、せせらぎの水量を調節するため、近くを走っている市営地下鉄駅の湧水をポンプで利用して水を流しています。せせらぎにはアメンボ、ドジョウ、サワガニ、ホタルの幼虫の餌となるカワニナなどが見られ、自然を感じることができます。この緑道は神奈川区の「わが町かながわとっておき」に認定されています。

私のおすすめ  
三ツ沢せせらぎ緑道から豊顕寺へ

高橋正規 (神奈川区いまむかしガイドの会)



※主な場所の位置を示していますが、実際に歩く場合は正確な地図で確認してください。



## 30 三ツ沢せせらぎ緑道

かつての反町川の跡地を、西は三ツ沢西町から東は松本町まで国道1号線に沿うように整備されている緑道 (提供/神奈川区区政推進課)